

令和5年度 岩見沢市立第二小学校

学校（自己）評価報告書



推進校	岩見沢市立第二小学校							
校長名	澤 口 純 一				教職員数		18名	
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	合 計
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
児童数	20	14	16	27	21	21	7	126
住 所	岩見沢市上幌向南3条7丁目624番地							
電 話	0126-26-1504							
FAX	0126-26-2198							
UR-L	dainis@edu.hamanasu.com							

I 学校教育目標

「心身健やかに、よく考え、協調し合う子の育成」

【目指す姿】・学び合う子 ・認め合う子 ・磨き合う子

II 中期及び単年度の具体的目標

(1) 発達支持的生徒指導の機能を活かした学びの推進

新しい時代を生き抜く力を育むために、児童が主体的に問題や課題を発見し解決・探究する「自立した学習者」としての資質・能力の伸長を果たす。そのために、教師が一人ひとりの児童に対する理解を深め、支持的親和的な集団をつくり、生徒指導の機能を活かした授業を展開することを最上位の目標とする。

(2) 「業務改善」「エリア連携の推進」

子どもを徹底して大切にする教育の実現に向けて、職員の業務を見直し、環境改善を図る。また、数年先の小中一貫教育実施を念頭に置き、コミュニティ・エリアを機能化し、地域の教育力を学びに組み込む。

目指す子ども像

よく考え、学び合う子	協調し合い、認め合う子	心身健やかに磨き合う子
<ul style="list-style-type: none"> ◇主体的に学び、深く思考する。 ◇共に探求し、協働的に学ぶ。 ◇メタ認知をもとに学びに向かう力を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇さまりや礼儀の意味を考え、社会性を身につける。 ◇貢献や感謝を通じて自己有用感を高め合う。 ◇相互に多様性を認め、協調する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇目標をもち、自己の体力を高める。 ◇生命の尊さを知り、命を守る。 ◇自立と自律の確立に向けた自己指導力の向上

〈具体的指標〉

教育目標	めざす姿・指標	1・2年生	3・4年生	5・6年生	
心身健やかに よく考え 協調し合う 子の育成	よく考え 学び合う子	<ul style="list-style-type: none"> ●主体的に学び、深く思考する ●共に探求し協働的に学ぶ ●メタ認知をもとに学びに向かう力を醸成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題解決に向けて自力あるいは仲間とともに解決しようとする ・ペア学習を中心に、自分の考えを伝え、他者の考えに傾聴しようとする ・学んだことを振り返り、できたこと、わかったことを整理しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題解決に向けて見通しを持って取り組み解決しようとする ・グループ学習を中心に、役割を決めて話しあい、自他の考えを比較・考察しようとする。 ・学んだことを何に使えるようになるか、を考え、整理しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題解決に向けて既習を活かしたり仮説を立てて考えたりして解決しようとする ・グループで学び合い、互いの考えの良さを見つけたり新たな考えを作り出したりしようとする。 ・学んだことを振り返り、新たな課題を見いだしたり、活用応用の方法を想起しようとする。
	協調し合う 認め合う子	<ul style="list-style-type: none"> ●きまりや礼儀の意味を考え、社会性を身につける ●貢献や感謝を通じて自己有用感を高め合う ●相互に多様性を認め、協調する 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や返事ができる。 ・学習の準備、片付けができる。 ・時間を守る。 ・話をする、話を聞くことで充足感を高め、互いの存在を認識し合うことができる。 ・自分と他者との違いに気づき、相手の立場を尊重しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外のルールを守る。 ・道具類を整理し、忘れ物をしない。 ・責任をもって仕事に取り組む。 ・仕事をやり遂げた達成感や褒められた経験を通じて自身の存在意義を感じることができる。 ・自他の違いを踏まえ、共によりよく生活するためどうしたらよいか考えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きまりの意味を説明できる。 ・計画的に仕事に取り組む。 ・リーダーとして自覚と責任をもつ。 ・取組の過程を認め、認められることを通じて、互いに必要な存在であることを自覚する。
	心身健やかに 磨き合う子	<ul style="list-style-type: none"> ●目標をもち自己の体力を高める ●生命の尊さを知り、命を守る ●自立と自律の確立に向けた自己指導力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に体を動かす習慣が身についている。 ・自身の力を出し切る運動ができる。 ・身の周りの動植物から命の尊さを知り、大切にしようとする。 ・危険に気づき気をつけて行動できる。 ・わがままを言わずに仲良く遊ぶことができる。 ・基本的な生活習慣を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の体力を数値で知り、目標値を設定できる。 ・日常運動で体力を向上させようとする。 ・安全に気をつけ危険な行動をしない、させない。 ・自分の命の尊さを知り、守る。 ・友達の良いところを認め、助け合うことができる。 ・生活習慣を振り返り改善できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己記録を踏まえた目標を立てて、日常生活で目標更新に向けて取り組もうとする。 ・安全な環境をつくり、危険な行為を注意できる。 ・自他の命、心身を守る意識をもつ。 ・友達の長所や短所を理解し、助け合うことができる。 ・目標実現のために自己調整できる。

Ⅲ 各種具体的な計画

(1) 適切な教育課程の編成、実施、評価、改善の推進

- ① 学びの効果を引き上げるために、各指導計画のカリキュラム・マネジメントを実施する。
- ② 外国語や外国文化への関心を高め主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする子を育成する。
- ③ 探究的な見方・考え方を働かせ、共生社会を生きる態度を総合的な学習の時間で育む。
- ④ 各教科や道徳科、外国語活動及び特別活動で身に付けた知識や技能等を横断的に関連付け、学習や生活の場面で生かそうとする実践態度を育てる。

(2) 一人一人の子どもを主語にした学びの充実

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業実践による、身に付ける資質・能力の伸長をはかる。
- ② 子どもとの対話により、「教える」べきことを教え、「考えさせる」べきことを考えさせる授業を展開する。
- ③ ICT活用(GIGAスクール構想)を踏まえた個別最適な学びを推進し、個の資質・能力の伸長に資する。
- ④ 学習スキルを向上と学習ルールの徹底によって学びのベクトルを形成する。

- ⑤ 他者と課題解決したり、合意形成を図ったり、意思決定したりしながら協働する力や深く追究する力を育成する。

(3) 児童理解に基づく発達支持的生徒指導の推進

- ① 子どもの人権の尊重と児童理解を基本にし、認め・励ます受容の姿勢で一人一人の良さや可能性を伸ばし、自己実現を図る支援を推進する。
- ② 「自己指導力の育成」を踏まえた学習指導を推進する。児童が学習の振り返りを踏まえた自己調整を行い、主体的な学びを進めるための指導・支援を推進する。
- ③ 客観(Hyper Q-U等)と主観(教師の目)を生かした日常のきめ細かな情報収集から分析と見立てを行い、児童理解を深める。

(4) 豊かな心をはぐくみ、人間としての生き方を考える道徳教育の推進

- ① 考え議論する道徳科の学習を通じて、自分の生き方や行動への「気づき」の心を育て、自立心と強い意志、いたわりと思いやりの心など、よりよく生きるために必要な力を育てる。
- ② 道徳的実践意欲と態度が醸成されるように、資料を効果的に活用したり、家庭と連携したりする等、学びの効果を高める指導を推進する。
- ③ 「傾聴・受容・共感」の信頼関係を築くために、ピア・サポートの手法を日常の授業で取り入れ、支持的・親和的な集団づくりを推進する。

(5) 共生社会の構築に向けた特別支援教育の推進

- ① 個の特性に応じた教育課程、個別の指導計画の編成・実施・改善を行う。
- ② 「困り感」を持つ児童に対する合理的配慮と教育的支援を組織的に行う。
- ③ 児童の個性に応じた成長を願い、保護者と共有・連携を進めながら適切に教育相談、就学支援を行う。
- ④ 共生社会の構成に向けて、インクルーシブ教育の充実に努める。
- ⑤ 児童理解に関する研修、資料提供を行い、個性や特性をふまえた的確な指導を推進する。

(6) 健康でたくましい体をつくる教育の推進

- ① 児童の生活を通して体づくり運動や遊びを推奨し、体力の向上と体力づくりの生活習慣化を図る。
- ② 個々に目標を持たせた「朝の体力づくり」や「縄跳び発表会」等、体力向上の企画を充実させる。
- ③ 家庭や関係機関との連携を図り、自他の生命を尊重する態度や危機回避能力を育成する。
- ④ 健康で安全な生活習慣の定着を図り、生活を自己調整する力を身につけさせ、維持増進に努める実践的態度の育成を図る。

(7) コミュニティ・エリアを基盤とした地域連携・小中連携の推進

- ① 地域・上幌向中学校との連携に努め、地域全体で子どもを育成する基盤をつくる。
- ② 学校だより・授業参観・学校行事等の機会を通して、学校経営ビジョンの浸透及び成果と課題を明確にするとともに、学校運営協議会(コミュニティ・エリア)の意見を参考に経営改善を図る。

- ③ 関係機関・団体と連携し、地域の人的・物的資源を積極的に活用する。
- ④ 校種間連携及び社会教育等、関係機関と連携を図り、児童生徒の健全育成を目指した指導を推進する。
- ⑤ 岩見沢市の教育施策に基づき、小中一貫教育を念頭においた連携を図る。

(8) 学びの充実に資する研修の推進

- ① 統一性と一貫性のある組織的な研修を推進し、児童の「学びに向かう力」を引き上げる。
- ② 教育研究所と連携し、指定事業の推進や個別研修の機会を有効活用し、授業スキル・指導スキルの向上を進める。
- ③ 個別最適な学びと協働的な学び、GIGA スクール構想等、時代・社会の要請に応じた教育活動に向けた研修を図り、共通理解のもと実践を重ねる。
- ④ 外部講師の招聘や外部の研究会等の参加を積極的に進め、指導力の向上を図る。

IV 各種評価結果と改善策

年2回学校評価を行うことで、前期で受けた課題を教職員全体で共有し、改善を図る場を設定した。それにより、全校での統一した指導が行え、第二小スタイルとして定着してきた。

また、後期からは本校の目指す子ども像の具体的指標をアンケート項目にしたことにより、「目指す姿」の達成度を可視化できるようになった。児童―保護者―教職員の意識の差を明確に捉え、素早く対応していくことを今年度も重点とした。アンケート結果をもとに、各分掌グループで協議・改善策の提示を行い、職員全体で学校改善の視点をもったことが大きな収穫と言える。

今後は、子どもたちの願い、地域・保護者の願いを受け止め、時代や地域の実態に適した学校運営を進めるため、中学校区での連携した評価を重点化させる必要がある。

V 資料

- ・前期学校評価アンケート集計資料
- ・教務提案見解
- ・学校便り第7号(前期アンケート結果の公表)
- ・後期学校評価アンケート集計資料
- ・教務提案見解
- ・学校便り第12号(後期アンケートの結果公表)
- ・上幌向中学校区学校運営協議会評価資料

学校評価アンケート結果(一覧)

2023/08/16

教務 I 岡 和輝

NO.	質問項目	保護者(44)				教職員(11)					児童(80)							
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない				
1	学校は説明がわかりやすく児童が主体的に活動する授業づくりをしている。	40.9%	56.8%		2.3%	45.5%	54.5%				76.3%	20.6%	3.1%					
											いっしょうけんめい、授業に参加している。	71.3%	28.8%					
											何を学習したのかよくわかる。	76.3%	21.3%	2.5%				
											先生が黒板に書く字の大きさや色は見やすい。	86.3%	11.3%	2.5%				
											学習が進む速さはちょうどよい。	71.3%	21.3%	7.5%				
2	学校はタブレットの活用など学力向上のための取り組みをしている。	61.4%	27.3%	6.8%	4.5%	90.9%	9.1%				タブレットを使って学習を進めることができる。	86.3%	13.8%					
		3	児童は授業での学習内容を活かし主体的に家庭学習に取り組んでいる。	31.8%	47.7%	18.2%	2.3%	18.2%	54.5%	27.3%		自分で計画して、進んで家庭学習や宿題をしている。	72.5%	22.5%	3.8%	1.3%		
				4	学校は児童の学習状況を適切に評価している。	59.1%	38.6%	2.3%		36.4%	63.6%			わからないことがあれば、積極的に先生に聞いたり、調べたりしようとしわからないところは、くり返し練習している。	67.5%	28.8%	2.5%	1.3%
														先生は、発表や質問をよく聞いてくれる。	55.0%	36.3%	6.3%	2.5%
															81.3%	12.5%	6.3%	
5	お子さんは学校に通うことが楽しいと感じている。	52.3%	40.9%	4.5%	2.3%	45.5%	54.5%			学校は楽しい。	75.0%	17.5%	1.3%	6.3%				
		6	学級は児童一人一人が受け入れられる居心地の良い場所になっている。	50.0%	43.2%	6.8%		36.4%	45.5%	18.2%			学校では、自分の仕事を最後までがんばることができる。	78.1%	18.1%	3.1%	0.6%	
												友だちと協力して、役割や仕事に取り組んでいる。	81.3%	15.0%	3.8%			
													75.0%	21.3%	2.5%	1.3%		
													70.0%	27.5%	2.5%			
7	児童は明るく元気にあいさつしている。	31.8%	61.4%	6.8%		18.2%	72.7%			礼儀正しく話をしたり、進んであいさつをしたりできている。	70.0%	27.5%	2.5%					
		8	学校はアンケートや相談活動など、悩み事への対応やいじめのない学校作りをしている。	36.4%	61.4%		2.3%	81.8%	18.2%			いじめは絶対してはいけないと思う。	93.8%	5.0%		1.3%		
9	学校は授業・休み時間などで体力向上のための指導や取り組みをしている。	38.6%	54.5%	4.5%		36.4%	63.6%			自分からすすんで体をきたえようとしている。	72.5%	18.8%	7.5%	1.3%				
		10	学校は交通事故防止・災害対応・感染症対策など安全についての指導や取り組みをしている。	45.5%	52.3%			63.6%	36.4%			あぶなくないように心掛けて遊んだり、生活したりしてる。	71.3%	26.3%	2.5%			
												整理整頓を心がけ、掃除をきちんとしている。	72.5%	22.5%	5.0%			
													72.5%	22.5%	5.0%			
													72.5%	22.5%	5.0%			
11	学校は食事・睡眠・病気の予防などの健康管理について指導している。	38.6%	61.4%			36.4%	63.6%			早ね早おきや手洗い・うがいなどをきちんとしている。	65.0%	26.3%	3.8%	3.8%				
		12	学校は将来の夢や希望について考えるための取り組みをしている。	27.3%	61.4%	9.1%		27.3%	63.6%	9.1%			70.6%	20.6%	5.6%	3.1%		
												自分の目標について家族と、よく話している。	60.0%	26.3%	8.8%	5.0%		
												最後までやり遂げて(学習・スポーツなど)うれしいことがある。	81.3%	15.0%	2.5%	1.3%		
				13	学校は道徳科やピアサポートの授業など自分や相手を大切にすることの育成に取り組んでいる。	40.9%	52.3%	4.5%		36.4%	54.5%	9.1%			66.9%	93.8%	26.3%	12.5%
										自分の気持ちを友だちにつたえることができる。	67.5%	22.5%	8.8%	1.3%				
										相手の気持ちを考えて、親切にすることができる。	65.0%	31.3%	3.8%					
									学校には自慢できる行事や活動がある。	71.3%	16.3%	6.3%	6.3%					
									自分には良いところがある。	63.8%	23.8%	7.5%	5.0%					
15	学校は学校だより・学級通信・ブログなどで保護者や地域に学校の様子を伝えている。	61.4%	34.1%	4.5%		81.8%	18.2%											
		16	学校は保護者や地域と協力して教育活動に取り組んでいる。	50.0%	47.7%		2.3%	63.6%	36.4%									

グラフで比較

学校は説明がわかりやすく児童が主体的に活動する授業づくりをしている。



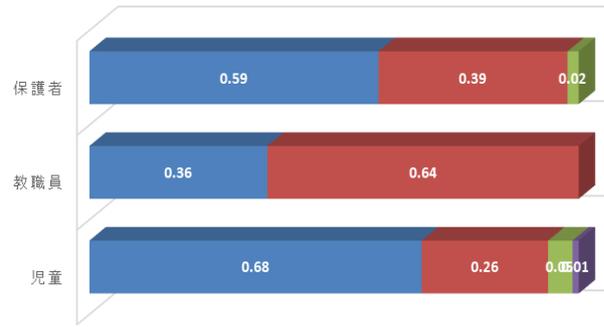
学校はタブレットの活用など学力向上のための取り組みをしている。



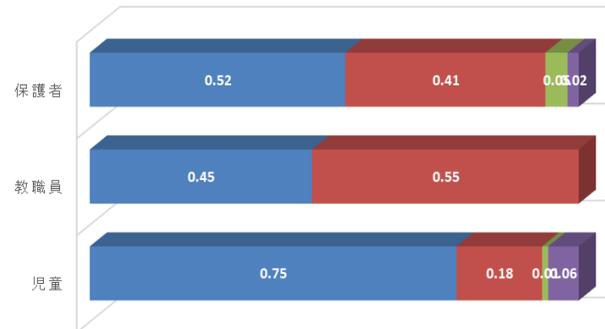
児童は授業での学習内容を活かし主体的に家庭学習に取り組んでいる。



学校は児童の学習状況を適切に評価している。



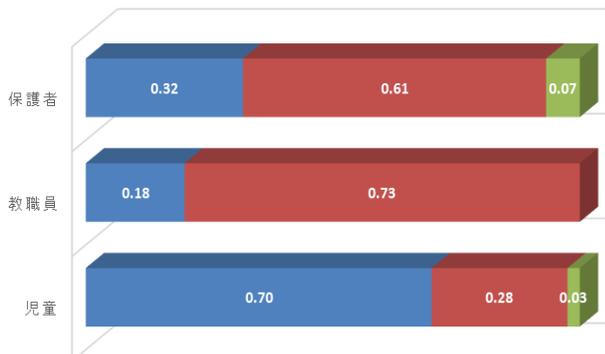
児童は学校に通うことが楽しいと感じている。



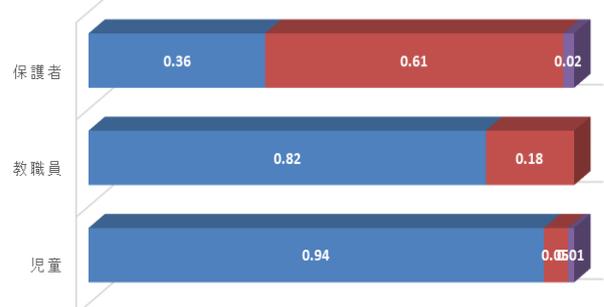
学級は児童一人一人が受け入れられる居心地の良い場所になっている。



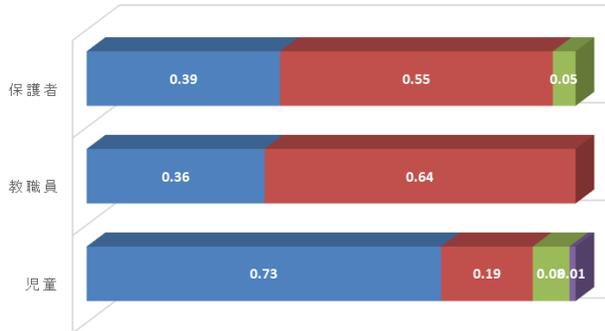
児童は明るく元気にあいさつしている。



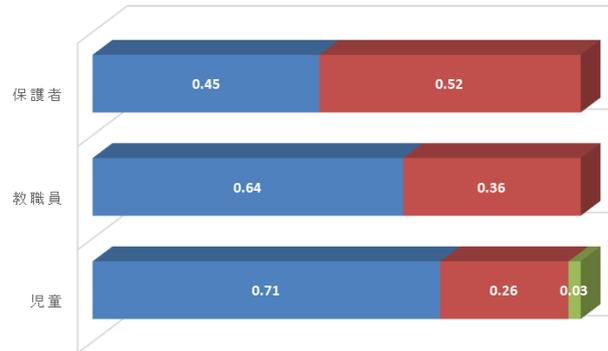
学校はアンケートや相談活動など悩み事への対応やいじめのない学校作りをしている



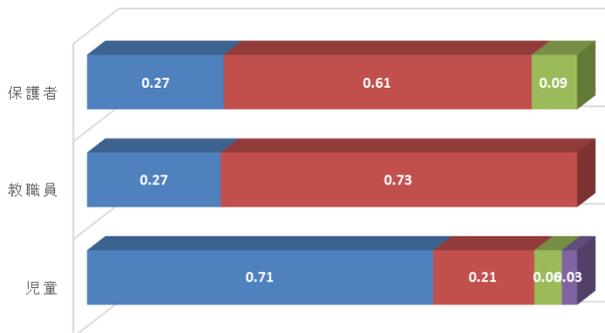
学校は授業・休み時間などで体力向上のための指導や取り組みをしている。



学校は交通事故防止・災害対応・感染症対策など安全についての指導や取り組みをしている



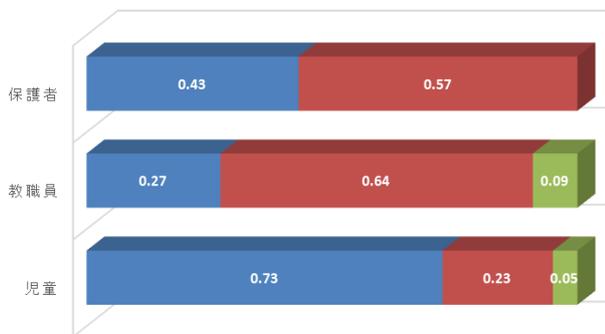
学校は校舎をきれいに整え設備の管理を適切に行っている。



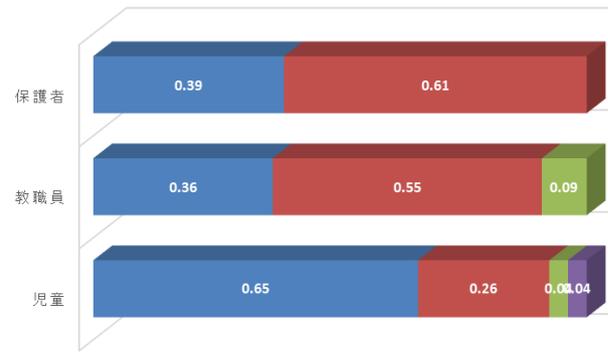
学校は食事・睡眠・病気の予防などの健康管理について指導している



学校は将来の夢や希望について考えるための取り組みをしている。



学校は道徳科やピアサポートの授業など自分や相手を大切にする心の育成に取り組んでいる。



学校は学校だより・学級通信・ブログなどで保護者や地域に学校の様子を伝えている。



学校は保護者や地域と協力して教育活動に取り組んでいる。



自由回答欄より

保護者

○	いつも子供への丁寧な対応ありがとうございます。毎日楽しそうに登校していき、安心しています。
○	子どもは楽しく学校に行ってるので、先生方のことを信頼してます。特に改善点等ありません。
△	iPadを毎日自宅に持ち帰る必要性を感じないです。本人に何度話をしても結局iPadで宿題をやってそのままダラダラ使い続けたり、借りているものだという意識も低く、私物化してしまうので、持ち帰らずに学校で使うだけで十分だと思います。
△	タブレットを家で使用している様子がほとんど見受けられないですが、持ち帰らないといけないのでしょうか？ランドセルが重くなってます。
△	三年生ですが、宿題がタブレットで出ないので、以前まではタブレットだったりしたので。それが良いのか悪いのかわかりません。漢字などは紙の宿題で書くことは大事だと思います。学級通信に写真がないので、子供の写真があるとありがたいです。
△	その他の意見として、アプリを活用して、出欠の有無やおたよりの配信などを行なってもらえるともより便利かと思います。（ペーパーレスにも繋がると思います。）

教職員

○	学年間に差があつたりもするが、みんな頑張ってくれている。「そう思わない」の評価はしていません。
△	宿題にまじめに取り組む提出するが、自主学習となると一部の児童に限られてしまいますので、簡易な目標を立てさせて全員が取り組むようにさせるとよいかも（低学年なので自分でなかなか取り組もうとしないのが現状）
△	図書の本が不足しているため、同じ本を読まざるを得ない。

2年

○	むずかしい問題を出してほしい。
×	帰ってから いじめられたり 嫌なこと

3年

△	私が手を挙げたりしたらあててほしい。私の意見を聞いてほしい。
△	もっと私が手を挙げたりしたらあててほしい。
×	頭痛

6年

△	エアコン・クーラーをつけてほしい。他6名
△	エアコン、プール
△	自転車通学をOKにしてほしい。他2名
△	6年遠足で岩見沢公園に行きたいです。
×	もっと楽しい学校がいい。
×	イタズラされる。
×	菌をなすりつけるのをまだやめていないです。やめてと言っても無駄なんです。
×	僕は最近、ふざけかもしれませんが出口透真さんに消しゴムを取られることがあります。

学校評価アンケートについての担当者見解

1. 学校評価アンケートの取り方について

- 保護者アンケートは、メールアドレスを記入していただき1回のみとした。
 - 教職員・児童アンケートは、より簡易なものにするように「メールアドレス」「1回」の項目は、はずした。
- 保護者アンケートが44件 → アンケートの広告が足りなかった。
次回は、期間を長くして広く呼び掛ける。
保護者懇談なども利用する。
 - 誰のアンケートか → 記名欄がないので、どなたの意見かを知ることができない。
児童の回答にも、すぐに対応したいものがあったが対応ができない。
例) ②帰ってから いじめられたり 嫌なこと
③手を挙げたらあててほしい。私の意見を聞いてほしい。
⑥もっと楽しい学校がいい。イタズラされる。菌のなすりあい。からかい。
次回は、記名欄（任意ではある）を設定する。児童・教職員は、メールアドレスを記入

2. 項目ごとの見解

項目2（タブレットの使用）

3（どちらかといえばそう思わない）4（そう思わない）の回答が、保護者アンケートに11.3%あり、自由回答欄に

「iPadを毎日自宅に持ち帰る必要性を感じない。」「タブレットを家で使用している様子がほとんど見受けられない」「タブレットでの宿題が出ない」などもありました。

- タブレットの活用について今一度保護者に確認する。
デジタルドリルや調べ学習への取り組みなど

項目3（家庭学習）

3・4の回答が、保護者20.5% 教職員27.3%あり、教職員のアンケートにも

「宿題にまじめに取り組み提出するが、自主学習となると一部の児童に限られています。簡易な目標を立てさせて全員が取り組むようにさせるといいかも」の回答あり

- 家庭学習の取り組みについて、共通理解が必要

項目6（居心地の良い場所）

3の回答が、教職員アンケートが18.2%←児童アンケートとの差

項目13（自分の目標）・項目14（自分や相手を大切にしている取り組み）

3・4の回答が、児童アンケートが10%を超えている。

- キャリア教育、ピアサポートなどの学習の取り組みにより、ポイントを減らしていきたい。

教職員アンケート2の結果

NO.		質問項目	A	B	C	D	
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	
1	学校全体	(教育目標) 教育目標は、適切である。	8	3	0	0	
2	学校全体	(教育課程) 創意ある教育課程を編成・実践し、その都度改善を加えている。	5	6	0	0	
3	教科等指導	(教科指導) 学習指導は、基礎・基本の確実な定着に向け、組織的(朝学習やTT・家庭学習など)に取り組み子どもたちの成長に結びついている。	5	6	0	0	
4		(道徳教育) 道徳教育は、道徳の時間を中心に教育活動全体を通して取り組まれている。	7	4	0	0	
5		(外国語活動) 外国語活動は、ALT等との連携を図った指導体制と指導方法の工夫がなされている。	8	3	0	0	
6		(総合的な学習の時間) 総合的な学習の時間は、主体的に学び、課題解決する力など発達段階に応じた力を身に付けさせる取組になっている。	4	7	0	0	
7		(特別活動) 特別活動は、集団での学びや異年齢交流などから、発達段階に応じた力を身に付ける取組になっている。	6	5	0	0	
8		生徒指導	(生徒指導) 生徒指導は、家庭や地域・関係機関と連携し組織全体で情報を共有し、共通理解の下、取り組まれている。	7	4	0	0
9			(健康安全指導) ケガや病気等の緊急時の対応や交通安全対策は、十分に行われている。	3	8	0	0
10	支 特 援 別	学校は将来の夢や希望について考えるための取り組みをしている。	5	5	1	0	
11	研 修	学校は道徳科やピアサポートの授業など自分や相手を大切にする心の育成に取り組んでいる。	6	5	0	0	
12	環 境 ・ そ の 他	(教育環境) 図書や教材・教具の整備、掲示や清掃の環境美化などが十分なされ、子どもの成長に結び付いている。子どもたちは、安全に留意した遊びや行動を行うことができる。	2	8	1	0	
13		(学年・学級経営) 学年・学級間相互の連携を密にした機能的、効果的な経営になっている。	3	8	0	0	
14		(学校事務) 公文書の管理(保存・廃棄)の方法をはじめとする学校事務は、各職員に理解され適正に行われている。	5	6	0	0	
15		(家庭や地域、他校種との連携) 学校と保護者や地域住民に情報提供がなされ、校外からの情報や思いを学校運営に反映している。	8	3	0	0	
16		(教育の情報化) タブレットやネットワークを有効に活用している。	9	2	0	0	
17		(危機管理) コロナウイルス感染予防対策について適切に情報共有し、学校全体で対策に取り組んでいる。	9	2	0	0	
18		(安全点検) 施設設備の安全点検をはじめ、日常的に危機管理の意識をもって対応している。	6	5	0	0	

※「そう思わない」の評価をつけた方は、その理由および改善策(要望)を記述していただければ幸いです。

	○	学年間に差があったりもするが、みんな頑張ってくれている。「そう思わない」の評価はしていません。				
	△	宿題にまじめに取り組む提出するが、自主学習となると一部の児童に限られてしまいますので、簡易な目標を立てさせて全員が取り組むようにさせるとよいかも(低学年なので自分でなかなか取り組もうとしないのが現状)				
	△	図書の量が不足しているため、同じ本を読まざるを得ない。				

令和5年度 第1回学校評価アンケート集計結果(7月実施)

NO.		質問項目	児童	保護者	教職員	全体	判定
1	学力向上	学校は説明がわかりやすく児童が主体的に活動する授業づくりをしている。	3.7	3.4	3.5	3.7	良好
2		学校はタブレットの活用など学力向上のための取り組みをしている。	3.9	3.5	3.9	3.7	良好
3		児童は授業での学習内容を活かし主体的に家庭学習に取り組んでいる。	3.7	3.1	2.9	3.4	良好
4		学校は児童の学習状況を適切に評価している。	3.6	3.6	3.4	3.6	良好
5	生活指導	お子さんは学校に通うことが楽しいと感じている。	3.6	3.4	3.5	3.5	良好
6		学級は児童一人一人が受け入れられる居心地の良い場所になっている。	3.7	3.4	3.2	3.6	良好
7		児童は明るく元気にあいさつしている。	3.7	3.3	3.1	3.5	良好
8		学校はアンケートや相談活動など、悩み事への対応やいじめのない学校作りをしている。	3.9	3.3	3.8	3.7	良好
9	健康安全	学校は授業・休み時間などで体力向上のための指導や取り組みをしている。	3.6	3.3	3.4	3.5	良好
10		学校は交通事故防止・災害対応・感染症対策など安全についての指導や取り組みをしている。	3.7	3.4	3.6	3.6	良好
11		学校は校舎をきれいに整え設備の管理を適切に行っている。	3.7	3.4	3.3	3.6	良好
12		学校は食事・睡眠・病気の予防などの健康管理について指導している。	3.5	3.4	3.4	3.5	良好
13	経営方針	学校は将来の夢や希望について考えるための取り組みをしている。	3.6	3.1	3.2	3.5	良好
14		学校は道徳科やピアサポートの授業など自分や相手を大切にする心の育成に取り組んでいる。	3.6	3.3	3.3	3.5	良好
15	地域連携	学校は学校だより・学級通信・ブログなどで保護者や地域に学校の様子を伝えている。		3.6	3.8	3.6	良好
16		学校は保護者や地域と協力して教育活動に取り組んでいる。		3.5	3.6	3.5	良好

●評価基準

A) そう思う B) ややそう思う C) あまりそう思わない D) そう思わない

●評価判定基準(A=4,B=3,C=2,D=1として集計)

- ・ 評価の平均が4.0 (すべてA) … 達成
- ・ 評価の平均が3.25以上～4.0未満 (概ねBを中心にCよりもAが多い) … 良好
- ・ 評価の平均が2.75以上～3.25未満 (概ねCを中心にDよりもBが多い) … 要検討
- ・ 評価の平均が2.75未満 (概ねCを中心にBよりもDが多い) … 要対策

令和5年 8月17日

保護者の皆様へ

岩見沢市立第二小学校

校長 澤 口 純 一

前期教育活動についてのアンケートのお願い

残暑の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力とご支援を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、本校では、7月と12月に保護者の皆様に「第二小学校教育活動についてアンケート調査」をお願いし、今年度の教育活動を見直し、学校経営の改善等に反映していきます。

調査結果をもとに、より一層子どもたちや保護者の皆様の願いや期待に応える学校にしていきたいと考えております。

また、今年度からアンケートの方法を変え、「Googleフォーム」での回答をお願いしていましたが、例年に比べ、回答数が少ないので、期日を延長したいと思います。また、アンケートを出されていないご家庭がありましたら、時節柄何かとご多忙中のこととは存じますが、趣旨をご理解の上、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

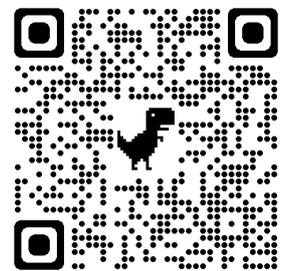
(なお、回答は1回に制限されておりますので、提出済みの方は大丈夫です。)

記

1. 記入方法

【Googleフォームでの回答をお願いします。】

- (1) 左記のQRコードより、アンケートの項目にお答えください。
回答は1回に制限されています。
- (2) アンケートの重複確認のため、メールアドレスを収集する設定にしてあります。個人を特定するためではありませんので、アンケート集計後はメールアドレスを削除します。
- (3) 児童のiPadを使用して、回答することも可能です。
(くれぐれも児童が回答することがないように、お気をつけ下さい。)



2. 提出方法

- (1) 8月31日(木)までに回答して、送信をお願いします。
回答は1回に制限されています。

3. その他

- (1) 保護者の皆様からいただいたアンケートの結果は、集計と分析後、「学校便り」等でお知らせいたします。
- (2) 提出されたご意見・改善策(要望)につきましては迅速に対応いたします。
- (3) 記入に際しまして、ご不明な点がございましたら、学校(Tel 26-1504 担当:教頭)までお問い合わせください。



行動することの大切さ

校長 澤口 純一

ある日、学校の廊下に、ペーパータオルが3枚落ちていました。一人の子が気づき、足下の1枚を拾い、ゴミ箱に捨ててくれました。その後、やや離れた所に落ちていた残り2枚を拾い、同じように捨ててくれました。その直後、笑みを浮かべたその子は私が後ろにいることに気づき、照れ笑いを見せて教室に戻りました。この子は、頼まれたわけでもなく、褒められたくて拾ったわけでもありません。最初の笑みは「ゴミがあったから拾って捨てた。拾ったら廊下がきれいになったので気持ちよくなった」という心境だったのではないのでしょうか。

奈良にある有名なお寺の僧侶さんの話、「心の持ち方やありようによって行動が変わり、行動を変えると心の持ち方やありようが変わる」というお話を聞いたことがあります。「つまらないな、と思いつつながら勉強をしていたら、つい寝てしまった」（心が行動をそうさせる）、ということもあれば、「寝不足だが姿勢を正して顔を前に向けたら元気な心が生まれた」（行動が心をかえる）、ということもある、とお話していました。

さて、道徳科の目標には次のようなことが記されています。

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

様々な学びを通して道徳的諸価値を理解し、判断力、心情、実践意欲・態度を育てる、という内容で、先述の僧侶さんの話に照らすと「心が行動をそうさせる」という順に育てる、とも読み取れます。

しかし、心が先か、行動が先か、といったものは、人の成長にとってそれほど重要ではないと考えます。例えば「心の底から優しいことをしたいと考えていても行動できない人」もいれば、「決して純粋な気持ちではないけど、よいことを行っている人」もいるのです。大切なことは行動すること。きっかけは様々でも行動したことに価値がある、と認めることが大切であり、その結果心が育っていく、そういう場合もあるはずですよ。

私を含め、人は思っても行動にすることがなかなかできないものです。人目が気になって行動することに臆病になることもあります。子どもに関わる大人が子どもたちの良い行いを認めることで、子どもたちの心が育つ。そして次の実践意欲につながっていく。そうした「育み」を大切に紡いでいきたいですね。

前期学校評価アンケートの結果について

保護者の皆様にご協力いただいた『前期学校評価アンケート』の結果についてお知らせいたします。今回の結果を基に改善を図り、今後の学校経営に生かして参ります。

		質問項目	満足している	満足していない	満足している	満足していない
1 2 3 4	学力向上	学校は説明がわかりやすく児童が主体的に活動する授業づくりをしている。	39.3%	58.9%	0%	1.8%
		学校はタブレットの活用など学力向上のための取り組みをしている。	57.9%	33.3%	5.3%	3.5%
		児童は授業での学習内容を活かし主体的に家庭学習に取り組んでいる。	29.8%	47.4%	19.3%	3.5%
		学校は児童の学習状況を適切に評価している。	52.6%	43.9%	1.8%	1.8%
5 6 7 8	生徒指導	お子さんは学校に通うことが楽しいと感じている。	49.1%	43.9%	3.5%	3.5%
		学級は児童一人一人が受け入れられる居心地の良い場所になっている。	47.4%	43.9%	7.0%	1.8%
		児童は明るく元気にあいさつしている。	31.6%	56.1%	12.3%	0%
		学校はアンケートや相談活動など、悩み事への対応やいじめのない学校作りをしている。	33.3%	63.2%	1.8%	1.8%
9 10 11 12	健康安全	学校は授業・休み時間などで体力向上のための指導や取り組みをしている。	35.7%	57.1%	7.1%	0%
		学校は交通事故防止・災害対応・感染症対策など安全についての指導や取り組みをしている。	42.9%	57.1%	0%	0%
		学校は校舎をきれいに整え設備の管理を適切に行っている。	43.9%	54.4%	1.8%	0%
		学校は食事・睡眠・病気の予防などの健康管理について指導している。	36.8%	61.4%	1.8%	0%
13 14	方針経営	学校は将来の夢や希望について考えるための取り組みをしている。	25.5%	60.0%	12.7%	1.8%
		学校は道徳科やピアサポートの授業など自分や相手を大切に育てる心の育成に取り組んでいる。	38.2%	58.2%	3.6%	0%
15 16	連携地域	学校は学校だより・学級通信・ブログなどで保護者や地域に学校の様子を伝えている。	64.3%	32.1%	3.6%	0%
		学校は保護者や地域と協力して教育活動に取り組んでいる。	51.8%	44.6%	0%	3.6%

※肯定的意見が90%を超えた項目は黄色、課題としてとらえる項目は水色で網掛けしています

〈考察〉

今年度は、上幌向中学校と保護者アンケートの項目をそろえ、取り組みました。

【学力向上】肯定的な回答が多いが、『児童は授業での学習内容を活かし、主体的に家庭学習に取り組む』習慣ができていないという回答が23%近くとなっている。今後はタブレットを日常的に活用することで、主体的に繰り返し復習する習慣が身に付く取組を進めます。

【生徒指導】肯定的な回答が多いが、『児童の明るく元気にあいさつ』については自由記述にも挙げられていました。コロナ対策でできなかったあいさつ活動を今後の児童会とも連携してすすめていきます。

【健康安全】肯定的な回答が多い。引き続き子どもたちが運動を楽しみ感じられるよう、朝体育等の内容を工夫します。

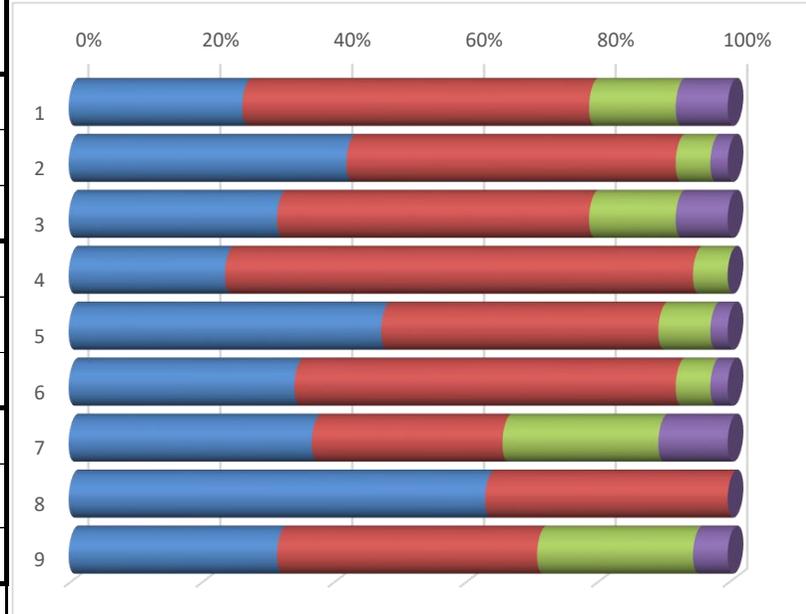
【経営方針】【地域連携】肯定的な回答が多い。今後も、ピアサポートなど中心に人間関係を広げていく活動を継続します。また、保護者の意見を学校経営に活かしていきます。

【自由記述より】

『宿題・家庭学習の習慣』『家庭でのタブレットの活用』の意見がありました。タブレットの活用の仕方などをプリントなどで提示していきます。「教員の発言や対応、授業の流れ」などについてもご意見をいただきました。また、コロナ対応が緩やかになりつつあるので、子ども達の体験的な活動の幅が広がるといいというご要望もいただきました。アンケートのご協力本当にありがとうございました。

保護者アンケート

	NO.	質問項目	A	B	C	D
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
よく考え	学び合う子	1 お子さんは 主体的に取り組み、よく考えて 学習に 取り組んでいますか？	10	20	5	3
		2 第二小の子どもたちは、仲間と協働して 学び合っていますか？	16	19	2	1
		3 お子さんは 自身の理解度に合わせて、意欲的に 学習に取り組んでいますか？	12	18	5	3
協調し合う	認め合う子	4 第二小の子どもたちは、きまりや礼儀などの社会性を 身につけていますか？	9	27	2	0
		5 お子さんは 貢献したり 感謝されたりして 自身の存在感を高めていますか？	18	16	3	1
		6 第二小の子どもたちは 互いの個性を認め合い、互いに協調しあっていますか？	13	22	2	1
心身健やかに	響き合う子	7 お子さんは 運動習慣を身につけ、体力を高めるために 取り組んでいますか？	14	11	9	4
		8 お子さんは 命の尊さを知り、自他の命を 大切にしていますか？	24	14	0	0
		9 お子さんは、 正しい生活習慣を 身につけるなど、自律的に行動していますか？	12	15	9	2



※「その他」 気になることなどありましたら、記述してください。

- 先生方の関わりいつも感謝です。 16
- △ いつもと違う事をした日などの事がブログにのってるといいなと思っています。 12
- △ 家庭学習などの学習の取り組みについて、子どもたちや親がわかりやすくどの先生に教えられても変わらず学習できるようなマニュアルを作って欲しい。子どもたち同士でも、どのような家庭学習に取り組んでるかを発表し合い、その取り組みの幅を広げられるようにしてほしい。 23
- ▲ 家庭学習ですが、よくわかる第二小の家庭学習の手引きがありますが、毎日取り組んでいるのかの確認が、各担任によって対応が違ったり、温度差があるように感じます。せっかく手引きがあるのに、先生の対応が違っていると、家庭学習の習慣付けにも影響してるなと思います。各先生によって対応方法に任せるのではなく、全学年で先生の対応方法を統一してほしいです。今のままでは、サポートする親側もやりにくいです。 14
- ▲ 目上の人に対する態度や言葉遣いが気になる子どもが目につく時があるので、平均するとよい評価になるが、差が激しくて回答を悩むものもあった。 5
- ▲ iPadを家に持ち帰る必要性を感じない。宿題以外に学習に使用することはなく、関係の無い動画をずっと見続けるなど、暇つぶしの道具になっている。何度怒られても、注意や話し合いをしても状況は変わらず、親子関係にも良くないと感じている。これから冬休みに入ると毎日このようなことが続くのでiPadの使用は学校内だけにしておけると本当に有り難いです。 35

保護者氏名

1年

4年

3年

3年

4年

6年

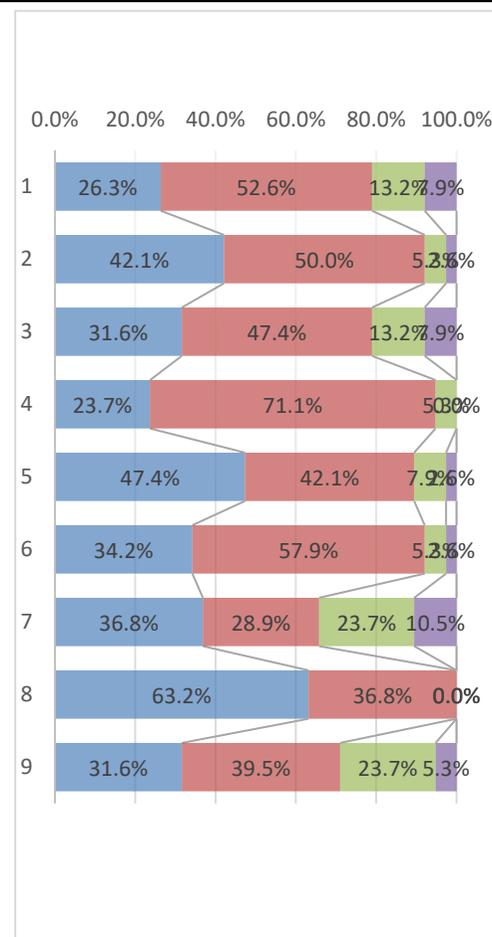
学校評価アンケート（保教児%）

保護者 38 / 99

教職員 13 / 13

児童合計 109 / 119

NO.	質問項目	保護者				教職員				児童合計			
		A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
よく考え 学び合う子	1 主体的に学び、深く思考する	26.3%	52.6%	13.2%	7.9%	15.4%	69.2%	15.4%		61.5%	34.9%	3.7%	
	2 共に探求し協働的に学ぶ	42.1%	50.0%	5.3%	2.6%	38.5%	53.8%	7.7%		59.6%	36.7%	0.9%	2.8%
	3 メタ認知をもとに学びに向かう力を醸成する	31.6%	47.4%	13.2%	7.9%	15.4%	53.8%	30.8%		50.5%	44.0%	4.6%	0.9%
協調し合う子	4 きまりや礼儀の意味を考え、社会性を身につける	23.7%	71.1%	5.3%		7.7%	92.3%			60.9%	28.1%	8.3%	2.8%
	5 貢献や感謝を通じて自己有用感を高め合う	47.4%	42.1%	7.9%	2.6%	23.1%	76.9%			73.4%	23.9%	0.9%	1.8%
	6 相互に多様性を認め、協調する	34.2%	57.9%	5.3%	2.6%	15.4%	53.8%	30.8%		55.0%	38.5%	4.6%	1.8%
心身健やかに 磨き合う子	7 目標をもち自己の体力を高める	36.8%	28.9%	23.7%	10.5%	15.4%	61.5%	23.1%		69.7%	23.6%	5.6%	1.1%
	8 生命の尊さを知り、命を守る	63.2%	36.8%			7.7%	92.3%			78.4%	15.6%	3.2%	2.8%
	9 自立と自律の確立に向けた自己指導力の向上	31.6%	39.5%	23.7%	5.3%		84.6%	15.4%		56.5%	37.1%	4.8%	1.6%



学校評価アンケートについての担当者見解

- × アンケートの回収率が悪かった。
 - 保護者アンケート（38 家庭/99）
 - 児童アンケート（101 人/119）
 - 教職員と6年生の分は今後集める。

- 懇談会でもアンケートの話題を出してもらった。（保護者）
- 途中2回 サクラノズの朝でも確認した。（保護者・教職員・児童）
- 何らかの工夫が必要。→紙での集計に戻した方が良いのではないか。

- 項目ごとでは、おおむね肯定的な回答が多くみられた。
 - 保護者7「お子さんは 運動習慣を身につけ、体力を高めるために 取り組んでいますか？」
65.7%
 - 保護者9「お子さんは、正しい生活習慣を 身につけるなど、自律的に行動していますか？」
71.1%

- 保護者の自由記述では、
 - 家庭学習の手引きに関するものが2件
 - iPadの持ち帰り、使用に関してが1件
 - ブログの内容が1件
 - 目上の人に対する態度や言葉遣いが1件
- 児童の自由記述では、
 - 教室内での記述（隣の人がうるさい。けんか。耳に響くような声。スクラッチの使用）
 - 運動会を午後も。全学年で触れ合うことを増やす。月金は5時間にしてほしい。などの意見もあった。

係見解

- タブレット通信などでの啓蒙ができています。
- 家庭学習のあり方については、今後も進めていく。
- 今回が初めての項目なので、何年か続けると変化が分かるのではないかと。



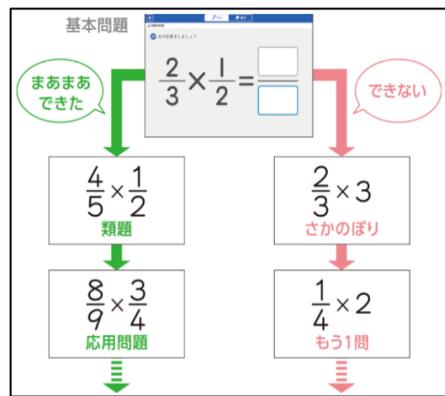
3月の生活目標
「室内の遊び方を考え
仲良く遊ぼう」

令和6年2月22日 岩見沢市立第二小学校

成長を支える、助ける

校長 澤口 純一

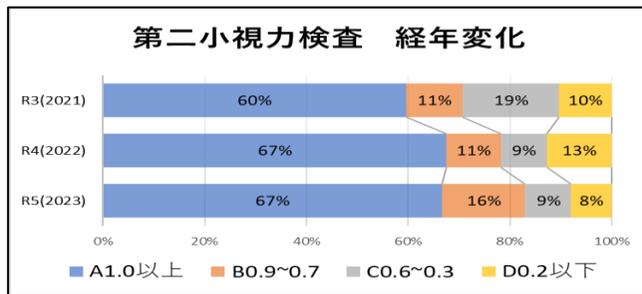
卒業を控えた6年生は、現在「パワーアップ学習」に取り組んでいます。月曜日の6校時、小学校算数で学習した様々な分野の問題から抽出した練習問題に挑戦しています。苦手な分野の解き方等、学習を振り返りながら思い出したり学び直しをしたりしていますが、その学習支援を、担任や時間講師の先生、校長、教頭、授業を終えた低学年の先生方がサポートしています。また、4月からお世話になる上幌向中の先生に来校していただき、サポートに加わる計画もあります。



学習支援は人的なサポートだけではありません。現在本校に導入しているタブレット端末を使ったドリルはAI機能が備わっており、正答・誤答によってサポート問題が自動的に出題されるようにプログラムされています。

また、昨年試行で取り入れていた電子書籍は、児童の興味関心を引き出す効果が非常に高く、搭載された冊数も一千冊を超えており、「自ら学ぶ」上で質・量ともに最適な学習ツールであることと実感したところです。

さて、タブレット導入の際、多くの方が視力の低下を懸念されましたが、タブレット導入以降の令和3年から5年の3年間の本校児童の結果を比較してみました。結果、統計的には大きな低下がみられませんが、今後も使用時間等に配慮して活用して参ります。



学習は教えられるより自ら学ぶ方が、はるかに効果が高いです。これからも様々な方策を適時適切に取り入れて「学びを支える」姿勢を大切に、よく考える子の育成を目指して参ります。

後期学校評価アンケートの結果について

保護者の皆様にご協力いただいた『後期学校評価アンケート』の結果についてお知らせいたします。今回の結果を基に改善を図り、今後の学校経営に生かして参ります。

	質問項目	その思い	その思い	その思い	その思い
よく考え 学び合う子	1 お子さんは 主体的に取り組む、よく考えて 学習に 取り組んでいますか？	26.3%	52.6%	13.2%	7.9%
	2 第二小の子どもたちは、仲間と協働して 学び合っていますか？	42.1%	50.0%	5.3%	2.6%
	3 お子さんは 自身の理解度に合わせて、意欲的に 学習に取り組んでいますか？	31.6%	47.3%	13.2%	7.9%
協調し合う 認め合う子	4 第二小の子どもたちは、きまりや礼儀などの社会性を 身につけていますか？	23.7%	71.0%	5.3%	0%
	5 お子さんは 貢献したり感謝されたりして 自身の存在感を 高めていますか？	47.4%	42.1%	7.9%	2.6%
	6 第二小の子どもたちは 互いの個性を認め合い、互いに協調しあっていますか？	34.2%	57.9%	5.3%	2.6%
心身健やかに 磨き合う子	7 お子さんは 運動習慣を身につけ、体力を高めるために 取り組んでいますか？	36.9%	28.9%	23.7%	10.5%
	8 お子さんは 命の尊さを知り、自他の命を 大切にしていますか？	63.2%	36.8%	0%	0%
	9 お子さんは、正しい生活習慣を 身につけるなど、自律的に 行動していますか？	31.6%	39.4%	23.7%	5.3%

〈考 察〉

【よく考え 学び合う子】肯定的な回答が多く、「仲間と協働して学び合っている」の回答が特に多くなっています。今後は、「意欲的に学習に取り組む」の改善、充実のために「タブレットの有効活用」や「家庭学習の充実」を図り、主体的に学習する子を増やしていきます。

【協調し合い 認め合う子】肯定的な回答が多く、子ども達は「お互いの個性を認め合うこと」ができていくことが伺えます。また、きまりや礼儀をなどの社会性を身につけているとも考えられます。

【心身健やかに磨き合う子】他の2項目に比べ、肯定的な回答がやや少ないです。引き続き子どもたちが運動を楽しみと感じられる工夫や、正しい生活習慣を身につけさせるための声かけをしていきます。

【自由記述より】

・家庭学習の取り組み方や確認の仕方に、学級間で差があるのではないかとご意見をいただきました。『家庭学習の手引き』に基づいた取組みができていくかを再確認しました。今後、家庭学習の取組を全校で統一していきます。

・「目上の人に対する態度や言葉遣いが気になる子どもが目につく」とのご意見もいただきました。「全体的にはよくできているが、少し気になる子もいる」ということでしたので、学活や道徳などでもう一度きまりや礼儀について考える学習を取り入れていきます。

※今年度から、保護者アンケートをGoogleフォームで集める方式に変更しました。集計は効率的でしたが、集計数が減ってしまいました。次年度からは「Googleフォーム」と「アンケート用紙」のどちらかを選択して答えていただくように致します。アンケートへのご協力、本当にありがとうございました。

令和5年度 学校関係者評価 集計結果 (第二小学校)

R5.12.18 上幌向中学校区学校運営協議会事務局

領域	評価項目	評価	判定	ご意見
1 学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力の伸長を果たす「授業再生」改革 ・すべての子どもが輝く「児童理解」の深化 	3.80	良好	<ul style="list-style-type: none"> ・①学校経営の項目は多岐にわたるが、その相乗効果はどうか ②教員等の残業、健康管理の実態はどうか ③心身とも健康体で良い結果が得られると思う※岩見沢市内の全体的なことを何かの機会に教えてほしい。 ・大器晩成、ゆっくり成長する子どももいます。あせらせずに。
2 学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの実現 ・ICT機器の効果的な活用 	3.90	良好	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的及び科目ごとの向上はどうかなど、わからないが、個々の差が開かないような体制をお願いしたい。帰宅時間が定まっていると思うので。 ・学校学習の中で、効果的にICT機器が使われている。 ・機器操作の巧拙による理解度の差を見極める必要がある。
3 生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめを許さない集団づくり ・自己肯定感・自己有用感を高める取り組み 	3.70	良好	<ul style="list-style-type: none"> ・①いじめがないことを祈っています ②新聞紙上では、いじめ・学校側の連携不足・市教委の問題等が見受けられる ③自己肯定感&自己有用感を高める取組をよろしく。 ・いじめをなくす取組もいいですが、ゼロにはできないと思うので、いじめられたときのいじめへの向き合い方やどういう人に相談したらいいのか、逃げ方などを教える取組にも力を入れたいと思う。 ・ICTによる感情面への悪影響が不安である。 ・自配り気配りで今後も0件を目指していただきたい。 ・普段時、遊びの時発生していると思われます。注視してください。
4 健康安全	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで体を動かす子の育成 ・健康で規則正しい生活習慣 	3.80	良好	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの登下校時の姿を見ているが、あまり悪ふざけする姿は見られない。 ・友達同士で遊ぶ姿を日常的に見たいのが本音です。 ・子どもがサッカーしたいとなったとき、「学校でやればよくない？」ときくと、「使えない」といわれたので、クラブチームがないときは、放課後使えるようにしてほしい。自分は札幌ですが、友達と約束して一回帰ってその後みんなが集まってサッカーをしたり自由でした。 ・夜更かしをして、登校時遅れ気味の子が目立つ。学校でも指導を期待。 ・冬期間、体を動かさないので体育館で柔軟性を重視しランニングに力を入れてください。
5 地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への情報発信 ・学びの効果を最大にする「エリア連携」の形成 	3.90	良好	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭、町内会、掲示板等で情報提供をしているので、とても良いと思っている。 ・エリア連携について、よく実態がわからないので何かの機会に教えてほしい。 ・50周年を踏まえた活動がよかった ・学校便りの定期発行による地域への情報発信が素晴らしい

●評価基準

A：適切 B：おおむね適切 C：あまり適切でない D：適切でない

●評価判定基準 (A=4、B=3、C=2、D=1として集計)

評価平均4.0：達成 評価平均3.25以上～4.0未満：良好 評価平均1.75以上～3.25未満：要検討 評価平均1.75未満：要対策